

会議録

会議の名称	平成28年度第1回加東市まちづくり推進市民会議
開催日時	平成29年1月10日（火）午後3時～午後5時15分
開催場所	加東市役所2階 201会議室
議長の氏名（座長 梅野巨利） 出席及び欠席委員の氏名 <出席委員> ・遠藤智久 ・下山絹子 ・田中和美 ・梅野巨利 ・遠藤久男 ・黒崎みどり ・鈴木智子 ・豊福乃子 ・平川米一 ・廣畑恒子 ・藤本善仁 ・前田友子 <欠席委員> ・佐々木正利 ・宮崎良平 ・石田れい子 ・原勝彦 ・増田正一	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・協働部長 芹生修一 ・協働部企画協働課長 長谷川茂 ・協働部企画協働課副課長 前中公和 ・協働部企画協働課主幹 小林寿泰 ・協働部企画協働課主事 戸田紘平	
説明者として出席した市の職員 ・議会事務局長 西角啓吾 ・総務部長 時本敏行 ・市民生活部長 松本和久 ・福祉部長 丸山芳泰 ・地域創造部長 中村隆文 ・まち・農整備部長 阿江孝仁 ・上下水道部長 利山尚由 ・教育部長 堀内千稔 ・病院事業部事務局長 大橋武夫 ・上下水道部参事 大畑敏之 ・教育委員会事務局参事兼学校教育課長 登光広 他29人	
1 議 題 加東市総合計画後期基本計画の総括について 2 会議資料 第1次総合計画 後期基本計画 総括シート 3 会議の経過 ⇒別紙「平成28年度第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過」のとおり	
平成29年6月30日 <div style="text-align: right;">座長 <u>梅野巨利</u></div>	

(別紙) 平成28年度第1回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
<p>委員 部長 委員 課長 委員 課長 委員 議長 議長 委員 課長 委員 議長 委員 議長</p>	<p>1 開会 事務局 2 挨拶 梅野座長 3 協議 加東市総合計画後期基本計画の総括について (第1次総合計画 後期基本計画 総括シート) 事務局から説明 ○政策 I-4-(1) II-2-(2) II-3-(1) について担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆政策 I-4-(1) : 生涯学習を支える基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総括」の評価及び事務事業評価も全てAなので、これだけを見ると総合評価もAをつけなければならないように思うが、Bという評価の理由は。 ・活動指標のアンケートで「生涯学習活動支援の重要性」を認識している市民の割合が目標80%に対して平成26年度で67.3%、「講師・補助員にボランティアとして参加する市民の割合」が目標20%に対して14.6%という結果を踏まえてBにしている。 ・「後期基本計画の内容(H25～29)」の①学習環境の充実には「社会教育施設の役割を明確にする」「効率的に管理運営する」「市民の生涯学習に対する多様なニーズに応える」の3つの内容があるが、「総括」には1つしか成果が書かれていない。これでもAなのか。 ・そのような指摘になると、3つのうちの1つしか達成していないという判断になるのでB評価になる。 ・そういう意味では、①はB評価、②も学習できる場と機会を設けたただけだと思うのでB評価、③はA評価であると考え。その上で総合評価をBとさせていただきたいと思うがどうか。 ・②については、H26～28年の3年間で、成人向けの事業として料理教室やギター教室等の成人学習講座を展開した。参加者が3年間で成果を出していただけるように事業を実施し、学習機会の充実につながったと判断してA評価にしている。 ・理解した。 ・①の「総括」の評価をAからBに変更する。 ・1次評価はBであるが、それでよいか。 <p style="text-align: center;">[異議なし]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次評価もBとする。 ・「次期基本計画」の残された課題等に関して、意見や追加したい内容等はないか。 ・②に「公民館体制のあり方」とあるが、各地区にある公民館とこの公民館は別なのか。 ・ここで挙げている公民館は旧の社町、滝野町、東条町の3町にある市が管理する公民館のことを指すので、地区の公民館とは別の公民館である。 ・社地区に住んでいるが、社の公民館について詳しく知らない。どのような使い方をされているのか。 ・社公民館は市庁舎の隣にある。毎年「加東市の公民館登録団体と案内」という冊子に、3館の公民館の登録サークルの連絡先や活動内容を紹介し、広報と一緒に配っている。そのような方々の活動が公民館活動の一部になっていることのほかに、作品の展示や公共施設の利用という使い方をしている。 ・現在、「加東混声合唱団」と「童謡唱歌を歌い楽しむ会」に参加している。歌をとおして地元で溶け込むことができ、貴重な活動である。 ・公民館等の使われ方や、今後のH30年以降の公民館等のあり方についてご意見があればいただきたい。 ・図書館の今後のあり方について、3館となる図書館それぞれが別のジャンルの図書館を充実させるなど、特色を持たせた整備をすると良いと思う。文化ホールも同様に、講演会向き、音楽向き、多目的など、特色を活かすのが良いと思う。 ・このような市民の意見があるので、今後の課題に盛り込まれるか、考慮された

	い。
議長	<p>◆政策Ⅱ-2-(2)：地球環境の保全に向けた取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次評価はBであるが、それでよいか。 〔異議なし〕
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・2次評価もBとする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「次期基本計画」に関する課題等で地球環境に配慮したまちづくりや、環境教育・学習の推進に関して意見や要望等はないか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・P20の「①環境対策事業」はH28年から予算がかなり減っており、太陽光パネルの設置を推進しても、指標の700の目標を達成できるとは思えない。評価はCだが、方向性として更なる取組が必要としながら予算を削減しているのはどうか。 ・太陽光発電システム設定の補助金はH23年度から5年間の予定であり、H27年度で打ち切った。指標のH29年度までに700という目標値は、補助金が無くても市民の取組によって目標を達成できると考え設定した。補助を止めたにも関わらず、H28年度の住宅用太陽光発電の設置数は、4月～12月の間に約90件となっている。指標の実績値は市が補助金を交付した件数であるが、市の補助金なしで設置された数も含めるとH23～27年度末までで973件となり、目標は達成できていたことになる。もう1年は、まだ新築も進んでいるので、新築に合わせて太陽光設備も設置されるのではないかと予測している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の設置数は補助金を使った数値ということであれば、目標値の700は補助金を使った設置数ということか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金による設置が約500件で総数973件なので補助金以外で設置された数が約470件となり、ほぼ半数の方が補助なしで設置されている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・「②環境教育・学習の推進」に関する指標が少ないのではないか。①に関してはシステム設置数やエネルギー施策の重要性、エコドライブがある。出前講座の実施など地域の学習体制づくりの推進に関する指標も入っていないので、バランス的に十分でない印象を受ける。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市と加東エコ隊と企業とで環境パートナーシップ協定を締結し、企業も出前講座を行っている。市が行う出前講座もあるので、その辺りも指標として設定したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ教室に関連して、高齢者が運転する車の事故が多く、これから高齢者は自家用車を離れて生活しなければならないという流れがある。その辺りを指標と関連づけて検討するのはどうか。高齢者は免許証を返納した場合、公共交通機関がなければ生活が不便になることを一番心配している。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関係する意見かと思う。本日の議論の対象になっていなくても、担当部署の方は留意していただければと思う。
委員	<p>◆政策Ⅱ-3-(1)：交通安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標の「高齢者交通安全教室参加者数」の評価がCである。この指標と「市の取組」の「②交通安全の啓発」は関連すると思われるが、街頭での注意喚起の活動だけを取り上げて評価していると思われるため、Bとなるのではないか。高齢者の交通安全教室の参加者数が少ないことも併せて考えると、「課題」として、具体的で役に立つような新しい活動を考えることが必要であり、「次期基本計画」では、引き続きという形よりも、新たな取組をしてほしい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・「交通安全の啓発」については、指標の「高齢者交通安全教室参加者数」は目標数に達していないので単純に評価をCにしているが、高齢者に限らず、全体的に啓発活動をしたということで総括はAにしている。「次期基本計画」についても、「引き続き」としているが、年々交通に関する問題は増えているので、Aであっても、今後もより有効なものを進めていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それであれば、それが分かるような表現にしていきたいと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・指標を見ると矛盾を感じるが、啓蒙活動を何度もやっているのであれば、それを記述すべきである。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような形で具体的に記述する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話と矛盾するが、指標の中ではCやBがついている一方で、すべて右肩上がり

議長	<p>の実績であり、2次評価はAでもよいのではないか。カーブミラーの設置など市民が困っていることに迅速に対応していただいたこともある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次評価はBであるが、2次評価はAでよいと思うがどうか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次評価はAとする。また、啓蒙活動の取組についての文言を次期計画にて考慮いただきたい。
	<p style="text-align: center;">○政策Ⅲ-1-(3) Ⅲ-5-(1) Ⅳ-5-(1) について担当部署から説明 【質疑応答等】</p>
委員	<p>◆政策Ⅲ-1-(3)：要支援児童対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総括」の「①障害の発見、早期支援」について、障害の早期発見に力を入れ過ぎると、支援よりもスクリーニングの強化に力を入れる形になり、母親が構えてしまうことで支援につながりにくい経験をした。①の評価がAとなっているが、早期発見した数＝支援の質に結び付きにくいところがあるため、具体的に早期支援でどのような工夫をされているか聞きたい。
副課長	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーニングだけに固執してしまい、支援が要る子どもだと決めつけて関わることは保護者にとって受け入れ難い状況に陥ることがある一方で、心配している保護者に対しては、早期に何らかの支援の手立てを工夫し、具体的な関わり方のノウハウを身につけることで互いが衝突せずに生活できる面もある。そのような関わり方を集約したサポートガイドを作っており、入園・入学時にそれを活用することで、スムーズに環境の変化に対応できることをスタッフは認識しているので、できるだけ早期発見をしたいという思いがある。ただ、保護者の思いも大切なので、まずは重層的にいろいろな部分で相談支援に乗れるように、健診や相談を含めた見守りや関係づくりから始めたいと考えている。それを繰り返しながら、保護者から専門的な相談があった場合に上手く相談に乗れるようスタッフも気をつけている。相談や支援が必要なきに相談されない方も多いので、何らかの形で継続的に関われるサポートセンターのような体制があれば良いとスタッフと話している状況である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的な話になるが、高齢者大学に6年間通っていた頃は、子どもたちと接する機会があったが、高齢者大学を卒業すると子どもたちと接する機会がなく、公民館活動で子どもたちが接することができるような環境づくりができないかと考えて、地域に老人会を結成することになった。他の地域でこのようなモデルがあれば教えていただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の項目は要支援児童であり、要点がずれている。時間が制約されているので今の話は置いておきたい。 ・1次評価はBであるが、それでよいか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次評価もBとする。
委員	<p>◆政策Ⅲ-5-(1)：地域医療サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「後期基本計画」の「市の取組」の「③高齢化社会への対応」で「保健・医療・介護分野との連携を強化し、高齢化社会に対応していく」とあるが、連携をどこで評価すればいいかわからず、B評価の対象となる取組が読み取れない。また、病院の方向性、位置づけを明確にするということで具体的な数値の実績を含めて補足説明をしていただきたい。加えて、指標の「加東市民病院の人間ドック利用者数」の目標値が1,600となっているが、体制的に実現可能な目標なのか。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・連携については、H26年度から市の地域包括支援センターのサテライトとして病院の施設内に職員が交代で常駐しており、それによって病院の地域医療連携室、訪問看護ステーションとの連携も良くなっている。 ・加東市民病院の方向性は、地域包括ケア病棟の開設に大きく表れており、具体的な数値は持ち合わせていないが、院長から医師会に出向いて、病院の方向性を説明させていただいたことで、紹介も増えている状況である。 ・指標の「人間ドック利用者数」については、1日8人程度の検診を週に5日やれば可能な数値となっているが、厳しい数値であるとは感じている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指標が取組に対して評価し難いので、次期基本計画に向けて指標の考え方をもう少し検討されてはどうか。病院の方向性・体制も変わっているので、それに適する指標を検討しなければならないと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の設定については全体について言える課題である。 ・1次評価はBであるが、それでよいか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次評価もBとする。
委員	<p>◆政策Ⅳ-5-(1)：観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「②観光ネットワークの形成・推進」について、「総括」に書かれている内容は基本計画の内容からかなり遅れている印象であり、補足説明をお願いしたい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・「②観光ネットワークの形成・推進」については定住自立圏域自治体との連携を進めており、今年度についても北播磨以外の観光名所から気軽に北播磨地域に寄ってもらえるドライブマップ「北はりまみちくさマップ」の作成を進めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい観光ルートを開発したということか。「後期基本計画」には「近隣市町と連携して観光資源や観光情報の広域ネットワーク化を確立する」とあるが、広域ネットワーク化が最初に言われたことか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・広域ネットワーク化とはそもそも何を指したもので、それによって何ができたのか。ツーリズム協会や北播磨広域観光協議会と連携したものがネットワークなのか。次期基本計画では「新たなネットワークを形成」とある。もう少し具体的な説明をお願いしたい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの観光ネットワークの形成は、ツーリズム協会や北播磨広域観光協議会と連携するなど間接的に他の市町と観光ネットワークの連携を図っていた。今後の方向性では、加東市と他市町の観光施設等を直接連携するような新たな連携ができないかと考えている。H28年度においては、例えば、多可町の「道の駅」から「エーデルささゆり」を通して加東市に入るような新たな観光のモデルコースを、担当者同士が連携しながら作るという取組を進めている。
主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・「広域ネットワーク化」に該当するかは分からないが、前述の北播磨広域定住自立圏は中心市が加東市、加西市、近隣市町が西脇市、多可町で取り組んでいる。この取組の中で新たな観光コースの開発を模索している状況であり、今後の取組の中で成果として挙がってくることは考えられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在取り組んでいるところではあるが、多額の事業費であるにもかかわらず、指標の「観光振興の取組に対する満足度」がかなり低い状況である。次期基本計画の内容をもう少し掘り下げて取り組んでほしい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は市民に対して、どのような取組をしているかということを理解していただけるような効率的なPRの仕方も考えたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性について、東条湖周辺については、もう少し子どもと関連づけて若い方に来ていただくような工夫を、にぎわいプラザについては、観光客が情報を得て楽しめるような工夫をしていただければと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・1次評価はBであるが、それでよいか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次評価もBとする。
	<p style="text-align: center;">○政策Ⅴ-2-(1) Ⅴ-7-(1) Ⅵ-2-(1) Ⅶ-1-(2)について担当部署から説明</p> <p>【質疑応答等】</p>
委員	<p>◆政策Ⅴ-2-(1)：暮らしを基本とする住宅地の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主要施策を構成する主な事務事業」の通番2に「保留地売却に苦慮している区画整理組合を支援するため助成金の交付と資金貸付を行った」とあるが、保留地売却に関して今までも助成金を出したことがあるのか。また、貸し付けた分は100%回収できるのか。
部長	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金にはいろいろなケースがあるが、道路の整備や公園整備等の公共施設の整備にも実際は出されており、必要に応じて買い上げる形になっている。助成金はほとんどの区画整理に出されており、出ていないところはまずないと思う。貸付金に

議長	<p>については、実際は買い上げているが、当然返す条件で貸しているの回収が前提である。ただ、今は地価が下がっているの、例えば、10万円で売れば返せるところを、9万円や8万円になればその差が赤字になるので、そうならないように商業施設を誘致する等、地価が下がらない努力をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次評価はB評価で良いか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、2次評価もBとする。 ・方向性に関しては何かコメントがあるか。(意見等なし)
<p>委員</p> <p>部長 議長</p> <p>部長</p> <p>議長</p>	<p>◆政策V-7-(1)：上下水道の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道管の耐震化は100年規模になると書かれているが、これは技術の問題なのか、予算の問題なのか。 ・人とお金の問題である。 ・「上水道の安定供給」の方向性は「更なる取組が必要」という意味で◎ではないか。耐震化には100年、200年かかるかもしれないが、改修しなければいざ災害が起きた時に大変な事態になるという意味では、喫緊の課題として認識した方がよいと思う。予算がなければできないのは確かだが、「引き続き」では緩い印象を受ける。 ・確かに◎の方が妥当性が高いと感じるが、一気に多額の投資をするのは難しい問題なので、平準化して投資していく。この430km余りの水道管を耐震化していくのは非常に長期の事業になるが、安心・安全、そして安定供給という考え方から非常に重要だと考えている。 ・意識の問題だと思う。「更なる」と言うか、「引き続き」にするかだが、ライフラインなので◎ではないかという印象を受けた。 ・ここはB評価で良いか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、2次評価はBにしたい。
<p>委員</p> <p>課長</p> <p>議長</p>	<p>◆政策VI-2-(1)：地域コミュニティの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総括」の「コミュニティ意識の醸成」がBになっているが、今年は市制10周年ということで多くの交流の行事が企画、実施されている。ここまで盛り上げようとされた努力を考えると、もう少し評価をプラスしても良いのではないか。 ・市民の中でもいろいろなところに参加していただける方と全く参加していただけない方がおられ、行政としては、その差を埋めていく努力が必要だということで、この評価はBと受け止めている。 ・それではこの総合評価の1次評価はBで良いか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次評価もBで良いか。 <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p>
<p>委員</p> <p>課長</p> <p>議長</p> <p>課長 議長</p> <p>課長</p>	<p>◆政策VII-1-(2)：人材育成と行政組織の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民・事業者の取組」のところで、主語を入れて文章を作っていただきたい。これを見る限りでは主語が市民なのか事業者なのか分からない。 ・主語は加東市役所で、事業所という位置づけで書いている。ご意見のとおり主語がないと分からないので、主語は入れるべきかと考えている。 ・最初の「後期基本計画の内容」は市民が主語だと思う。「市民は」「事業者は」となるが、最後は「市役所が」となるのか。ここはどういう立場でものを言うべきなのか。 ・ここは市役所も1つの事業所という位置づけで書いている。 ・事業者の中に市役所が入っているということか。設定した時に、どの立場で書くというルールがあったのか。 ・先ほど説明があったように、市役所も1つの事業者として、職員を育成するための取組をしているという形で書いており、あくまで行政としてのまちづくりではなく、事業所としてやるべきことと捉えている。小野加東青年会議所は経営者の方々が経営を学ぶところなので、通常、行政が関わるものではないが、加東市も事業者と捉えた中でその位置づけで書いているということである。

議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、評価に入りたいが、2次評価はBで良いか。 〔異議なし〕 ・ 2次評価もBとする。
事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見書の提出については、本日議論された主要施策以外のところへの意見等は、1月17日(火)までに提出していただきたい。 ・ 第2回市民会議を2月22日(水)午後2時から滝野図書館3階会議場で開催予定である。内容は行財政改革推進計画の進捗状況について審議いただく。改めて案内を送らせていただく。 <p>5 閉会</p>